

2025 陸上競技ダイジェスト

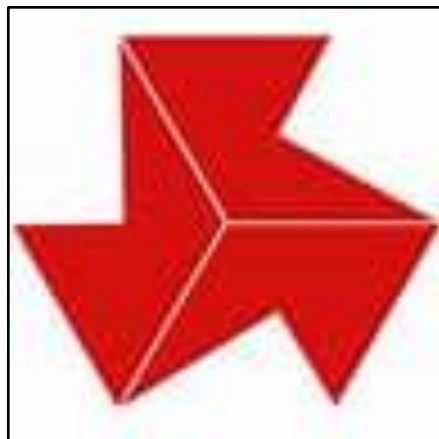
「第78回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会 淡路地区予選会」

5月10日(土)～5月11日(日)

兵庫県立三木総合防災公園陸上競技場

兵庫県高体連陸上競技部 広報委員会

全国高体連のマーク



KRAFT…**力**

KUNST…**技**

KLARHEIT…**明朗な精神**

マークの由来…ドイツ語の3つのKの頭文字をとったもの。「**若い力とわざと明朗な精神**」を象徴し、真紅の色彩は「**高い理想**」と「**希望に燃える若人の情熱**」を象徴している。



淡路地区予選会は、三木総合防災公園陸上競技場にて丹有地区と合同開催で行われた。展望として、総合成績は、淡路三原が男子2連覇、女子5連覇がかかる。注目選手は、男子は田村權生(淡路三原3)。昨年度やり投において近畿総体に出場している。また長距離においては、洲本が人数、実力ともに充実しており、県総体での上位入賞に期待が持てる。女子においては、棒高跳で昨年度県ユース2年生の部で優勝し、近畿ユースに出場した島田侑奈(淡路三原3)。近畿総体での活躍に期待がかかる。

初日は、淡路三原の田村權生による選手宣誓で始まる。途中より雨風ともに強くなる中、競技が進んでいった。初日に誕生した大会新記録は男子4x100mR。洲本(山本3・奈良3・安井3・中山2)が43秒59をマークした。初日を終えての総合成績は、男子は淡路三原が、2位の洲本に16.5点差をつけて1位とリード。女子は洲本が2位の淡路三原に3点差をつけてリードした。

2日目は晴天に恵まれた。2日目に大会新記録が男子で1つ、女子で2つ誕生した。男子400mHにおいて、奈良岳将(洲本3)が55秒34を記録。女子400mHで、平岡莉歩(淡路三原2)が1分7秒27をマーク、2位の山口菜摘(洲本3)も1分7秒64をマークした。

2日間の戦いを終えての総合成績は、男子は、トラック競技、フィールド競技ともにコンスタントに得点を重ねた淡路三原が90.5点で優勝した。2位は洲本(80点)、3位は洲本実(20.5点)だった。女子は、洲本が49点で優勝。トラック競技で得点を重ねたことが優勝に繋がった。2位は淡路三原(40点)、3位は洲本実(5点)。4位は津名(2点)だった。

男子：淡路三原が2連覇、女子：洲本が7年振りの優勝。

【男子】

1日目。棒高跳は、廣本悠真(淡路三原2)が、唯一県大会参加標準記録3m00をクリアし、1位となった。円盤投では、尾上知優(淡路三原3)が29m39で1位。110mHでは若宮來夢(洲本2)が16秒76(-0.5)で1位。走高跳でも、若宮(洲本2)は1m83で制し、110mHと合わせて2冠。1500mでは、平大輝(淡路三原3)が後半に洲本勢を引き離して1位となった。タイムは、4分9秒20。県総体でさらに記録が上がれば決勝もあり得る。100mは、奈良岳将(洲本3)が11秒24(+0.0)で1位。ハンマー投は、32m30をマークした尾上(淡路三原3)が1位。しかし、ハンマー投の県大会参加標準記録は35mのため、クリアすることはできなかった。三段跳は長田央亮(洲本実3)が13m62(+0.4)をマークし、圧勝した。400mは藤田優吾(淡路三原2)が51秒39で逃げ切って1位。3000mSCは仲野侑磨(洲本3)が10分28秒76で圧勝。4x100mRは洲本(山本3・奈良3・安井3・中山2)が43秒59で大会新記録を樹立

し、1位となった。

2日目。やり投は、田村權生（淡路三原3）が1投目に53m08をマークし1位。走幅跳は、安井陽音（洲本3）が6m37(+1.3)を跳び1位。5000mは、平（淡路三原3）が15分55秒60で制して、1500mと合わせて2冠となる。400mHは、奈良（洲本3）が55秒34で大会新記録を樹立し、1位。砲丸投は尾上（淡路三原3）が11m37を投げ、1位。なお、尾上は投擲3種目を制した。800mは小道響来（洲本3）が2分1秒22で、岡（洲本3）との接戦を制して1位となった。200mも奈良（洲本3）が22秒82(-1.2)で制した。5000mWは田中海風（洲本2）が37分27秒43で1位。八種競技は1名の出場となった。江後陽翔（洲本2）が3279点をマークし1位。4x400mRは洲本（矢野3・安井3・田中2・奈良3）が3分30秒31で1位となった。洲本の奈良は100m・200m・400mH・4継と合わせて5冠。また安井（洲本3）は4継・走幅跳と合わせて3冠達成。

【女子】

1日目。円盤投は青石雪月花（洲本3）が23m52で1位。棒高跳は島田侑奈（淡路三原3）が2m80をマークし、1位。走幅跳は山本朱莉（洲本3）が4m57(+0.3)をマークし、1位。100mHは山口菜摘（洲本3）が16秒31(-1.1)で1位。1500mは川北七海（洲本2）が5分17秒51をマークし1位。100mは吉田望乃（淡路三原2）が13秒63(-0.3)で制し1位。ハンマー投は松田悠希（淡路三原3）が34m87で圧勝し、1位。400mは平岡莉歩（淡路三原2）が1分2秒20をマークし、逃げ切った。4x100mRは洲本（山本3・山口3・中村2・河崎2）が51秒65で1位。

2日目。走高跳は出場者なし。砲丸投は、雑賀優育（淡路三原3）が7m75で1位。3000mは恵本世史琉（洲本2）が11分32秒82で1位。400mHは平岡（淡路三原2）が1分7秒27の大会新記録で、1位。また平岡は400mと合わせて2冠達成。2位の山口（洲本3）も1分7秒64で大会新記録だった。800mは川北（洲本2）が2分37秒69で圧勝し、1500mと合わせて2冠。やり投は、平野美采（洲本3）が34m54で1位。200mは山口（洲本3）が27秒37(-0.9)で圧勝した。三段跳は、島田（淡路三原3）が9m92をマークし、1位となり、棒高跳と合わせて2冠。しかし、三段跳の県大会参加標準記録10mを越えることはできなかった。4x400mRでは洲本（河崎2・中村2・山本3・山口3）が4分26秒07で制した。洲本の山口は200m、100mH、4継と合わせて4冠。山本は走幅跳・4継と合わせて3冠達成。七種競技は出場者なしだった。

【選手の声】

平岡莉歩（淡路三原高校2年）

・女子400mHにて、大会新記録を樹立し、1位。400mも制覇し、2冠。

大会新記録を樹立したことより、自己記録を更新することができて嬉しい。次は淡路記録を目指す。全体練習終了後に納得するまで、突っ込み練習を繰り返した。また冬季練習ではキツイ練習を乗り越え、コツコツ練習を積んできたことが繋がったと思う。

田村權生（淡路三原高校3年）

・男子やり投において1位。

昨年度、2年前の近畿大会では、まわりの雰囲気や飲まれ、思うような結果が出ませんでした。また、昨年度から記録が低迷し、焦りもありましたが、この1年間、試行錯誤しながら自分の投げを模索してきました。その成果をこの最後の総体で発揮し、必ず近畿大会に出場して、最高の投げをしたいと思います。